

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	海南市立日方小学校	西村 充司
学校所在地		
〒 642 - 0002 和歌山県海南市日方1257 tel 073 (482) 0118 fax 073 (482) 2102		
担当者名		役職名・担当教科
落合 星奈		教諭 6年生担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>創立は明治6年2月1日で、海南市では最も古く、和歌山県女子師範学校附属小学校の時代があるなど、歴史と伝統のある小学校です。また、海南駅前に位置し、海南市内でも中心地に位置しますが、児童数は年々減少し、現在は全学年1クラス、児童数は152人を数えるばかりです。なお、かつてからクラスの名称は、「星組、月組、雪組、花組・・・」で、今は全学年星組ばかりのオールスターとなっています。校歌の中にある「一生懸命」が校訓ともなり、今年度は「チームワークと感謝、そして笑顔」という合言葉を、児童・教職員・保護者・地域で大切にしながら学校生活を送るようにしています。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 18名	教員4名 現地支援者4名	6年生教室、田辺市本宮町
実践研究テーマ		
郷土の魅力再発見～世界遺産学習を通して～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習	郷土、和歌山県や海南市の歴史的な魅力を再発見しよう	
<p>〔キーワード〕 世界遺産 和歌山県 海南市 魅力</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>和歌山県や海南市に関わる世界遺産の学習を通して、歴史的な魅力を再発見し、郷土への愛着や誇りを高める。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 12時間 （「郷土、和歌山県や海南市の歴史的な魅力を再発見しよう（世界遺産学習を通して）」 12時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>海南市教育委員会 生涯学習課・・・小学生資料集「熊野古道 紀伊路 藤白坂」20部の提供＜事前学習のため＞ 和歌山県世界遺産センター ……世界遺産講座等、現時学習ガイド 等 世界遺産マスター ……現地学習ガイド</p>		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	熊野古道を体験してみよう ～まずは一の鳥居：藤白神社にて～ (2)	学校から徒歩で20分程度に位置する藤白神社にての現地学習を行う。	感想文
2	世界遺産で体験してみよう① ～修学旅行にて、那智大社やその周辺を散策～ (2)	郷土の魅力や誇りを意識しながら、世界遺産をめぐる。	感想文
3	小学生資料集「熊野古道 紀伊路 藤白坂」から学ぶ (1)	平成28年度に海南市教育委員会が発行した小学生資料集を児童の人数分届けてもらい、教材にして学習する。	授業中の発言
4	世界遺産で体験してみよう② ～世界遺産センター、熊野本宮大社、大斎原にて～ (6)	次世代育成事業を活用し、熊野本宮の地において、和歌山県教育委員会文化遺産課や世界遺産センターの皆さんのご支援・御協力により実現	感想文
5	体験活動を振り返って、郷土の歴史的な魅力について語り合う (1)	これまで活用した資料や、体験活動時の写真を提示し、具体的に振り返れるよう支援する。	授業中の発言
〔单元学習の成果と課題〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・実際に訪れたり解説を聴いたり歩いたりしたことにより、世界遺産や熊野古道を身近に感じられるようになった。 ・京都から、わざわざこんな険しい坂道を歩いて・・・と、体験してみて、熊野詣での大変さと、それでもたくさんの人がやってきたことによる値打ちの大きさを、実感することができた。 ・2年前は実際の熊野古道を歩くことができ、昔の人たちの大変さを体験できたが、今年度は雨天の影響で実施できず残念であった。 			
〔世界遺産学習の効果〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・郷土和歌山県や海南市の、歴史の重みと誇りを感じることができた。 ・世界遺産を守っていきたいという心が芽生えた。 ・世界遺産を守っていくことは大変なことだという実感をもつことができた。 ・もっと家族とも訪れたいと願う児童もみられるようになった。 			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<ul style="list-style-type: none"> ・体験前に事前学習があり、単に本宮大社と大斎原に行かせていただくだけでなく、世界遺産マスターのお話も聞け、内容的に非常に素晴らしく充実していた。 ・校内的には、もっと価値を実感できた上で次世代育成事業に参加することで、より学びも感動も深く大きくなると思うので、もう少し事前学習を十分に行うようにしたい。 ・今後も機会があつて可能であれば、ぜひ道普請も併せて体験させたい。 			

様式 2

令和 4 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

学習活動 1

熊野古道を体験してみよう
～まずは一の鳥居：藤白神社にて～

学習活動 2

小学生資料集「熊野古道 紀伊路 藤白坂」から学ぶ
提供・協力：海南市教育委員会 生涯学習課 矢倉氏



学習活動 3

熊野古道を体験してみよう
～世界遺産センター、大斎原、本宮大社にて～



10月7日金曜日、熊野本宮大社と大斎原に行きました。バスに乗っているときに、昔はいろいろな人々が都から熊野三山まで一か月かけて歩いたと考えると、大変な道のりだと実感しました。

10月7日に熊野本宮大社と大斎原に行きました。
次世代育成事業で初めて知って驚いたことは2つあります。
1つ目は、熊野古道は文化遺産だということです。ぼくは今まで熊野古道は複合遺産だと思っていたのでびっくりしました。
2つ目は昔の人々がわざわざ京都から熊野古道を歩いて1か月かけて和歌山にきていることです。和歌山には大切な神社があると知りました。今回の学習で和歌山県のすばらしさについて改めて知ることができました。

10月7日、熊野本宮大社と大斎原を訪れました。はじめはなぜ昔の人が一か月もかけて本宮大社にお参りをするのか分かりませんでした。でも、本宮大社にお参りしているときに熊野を「神聖な場所」と言っていた、昔の人の気持ちがなんとなく分かったような気がしました。

「神聖な場所」と言われてきた和歌山の世界遺産、熊野三山と熊野参詣道を次世代に受け継いでいくことが大切だと改めて思いました。
「次世代育成事業」として、熊野古道をはじめ「世界遺産」について学ぶことができました。この経験を今後の学習に活かしていけるようにしたいと思います。